10/21 水のセミナー

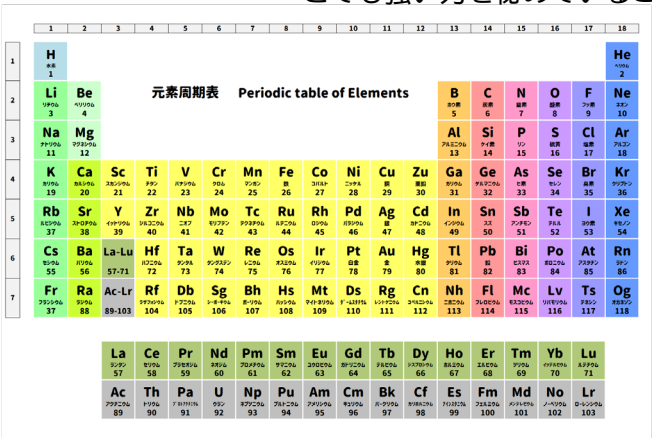
技術編

「私が思う鉄のおはなし」

講師：江田敏久社長

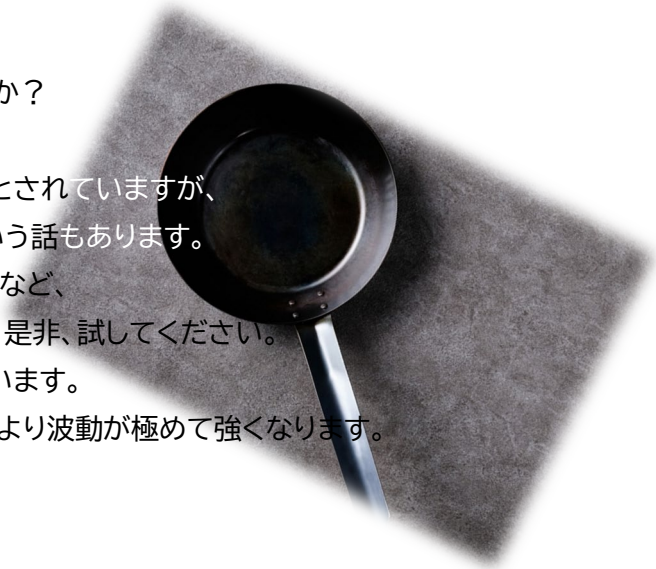
【鉄とは】

鉄(Fe)は、原子番号 26 の金属です。
鉄で作られたものは多く、とても身近に感じられますが、
実はとても安定した物質で、磁石になるものも鉄属のみ…など
とても強い力を秘めていることが伺えます。



【鉄にまつわるお話】

① 鉄で作る料理



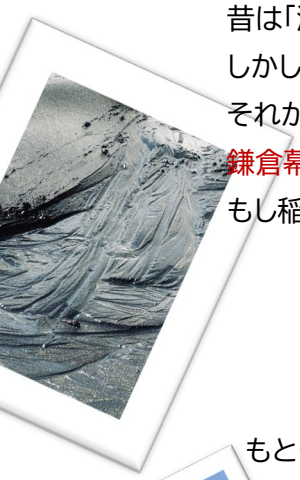
皆様は鉄でできたフライパンやお鍋をお持ちでしょうか？
重く錆びやすいことから、
現在ではテフロンやブルーダイヤモンドなどがベターとされていますが、
実は鉄製品で作った料理は不思議と美味しくなるという話もあります。
卵焼きや野菜炒め、お茶、アルコール類、フルーツなどなど、
みんな美味しく変わります。比べてみれば明らかです。是非、試してください。
鉄固有の固有振動数である波動が影響していると思います。
鉄は多くの元素と酸化鉄を形成しますが、その状態により波動が極めて強くなります。

②錆びない鉄柱

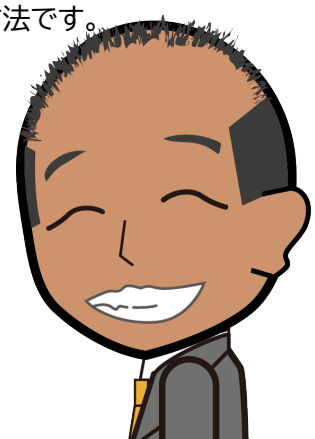
インド・デリー市郊外のクトゥブ・ミナールの遺跡には、
錆びない鉄柱が１つ立っています。
デリーの鉄柱・チャンドラヴァルマンの柱とも呼ばれ、
1993 年に「デリーのクトゥブ・ミナールとその建造物群」
として世界遺産に登録されました。
99.72%という高純度な鉄（純鉄）で作られており、
現代まで錆びることなく残っています。
この高純度の鉄は現在の技術でも作る事が出来ず、
古代文明のオーパーツの一つとして数えられています。

③ 稲村ケ崎と日本刀

稲村ヶ崎は、湘南の神奈川県鎌倉市にある岬で、由比ヶ浜と七里ヶ浜の間にあたります。
写真を見て頂ければ分かりますが、この砂浜はとても黒い色をしています。
昔は「湘南の海は汚い」などと言われてしまうほどでした。
しかしそれは間違いで、この砂浜には驚くほどの砂鉄が含まれており、
それが黒い色として表れているのです。
鎌倉幕府の素晴らしい日本刀の材料として有名です。
もし稲村ケ崎へ行く機会があれば、是非磁石を持って「砂鉄ウニ」を作ってみて下さい。



④ 鉄と炭で豊かな海を守る

実は海を綺麗に豊かに保つのに、鉄分は大きな役割を果たしています。
もともと、山や森の落ち葉・小生物の死骸などが腐敗し鉄分を川や海へ溶けださせることで、
海には鉄の栄養が豊富でしたが、現在山は針葉樹植林に覆われてしまったことで、
海も鉄分不足になってしまっていました。
鉄イオンが不足すると微生物や海藻が育たず、海が豊かになりません。
鉄イオンが触媒となり、海藻や植物プランクトンが育成され、
その後動物プランクトンや小魚、、、、→ いうなればこの『海の血液』ともいえます。
『海の貧血』状態を解決するために、
日本でも多くのプロジェクトが行われています。
鉄鋼業の廃鉄粉と炭をごはんで丸めて団子にしたものを、
子供たちと一緒に海へ投げて海を綺麗にするという簡単な方法です。

「僕の思う鉄のおはなし」…いかがでしたか？
是非フライパンなど身近なところから、
鉄のエネルギーを感じてみてくださいね！